

# おごせ 教育 Pick Up

## 越生小学校



越生小学校の大運動会です。入学して2カ月足らずの1年生も、一生懸命練習して、2年生と一緒に「宇宙ダンス」を精いっぱい踊りました。

## 梅園小学校

運動会スローガン「正々堂々 気持ちを一つに 勝利を目指せ」

校旗を先頭に全校児童、堂々の入場です。この後地域、保護者の方にも参加し赤白両チームの熱戦が繰り広げられました。



## 越生中学校

5月21日、体育委員の正々堂々とした選手宣誓がグラウンドいっぱいに響くなか、第70回体育祭が盛大に行われました。



### おごせっ子広場

町内の小中学校や町の行事等に参加する子どもたちを写真で紹介するコーナーです。

ズームイン教育231

いつでも  
元気・本気・根気の  
梅園小

梅園小学校

梅園小学校では、「いつでも元気、本気、根気の梅園小」を合い言葉に、知・徳・体のバランスのよい児童の育成を目指しています。学校が子どもたちにとって安全で安心できる場であり、家庭や地域に開かれ信頼される存在となるため、全職員が「以和為貴(和をもって貴しと為す)」の精神で努めていきます。

かしこく学力の定着

○今年度も理科教育の研究に取り組みます。その研究を基に、「わかった」「できた」「楽しい」授業を実践します。

○家庭学習の定着を図ります。

○暗唱チャレンジによる向学心の育成を図ります。

やさしく豊かな心の育成

○コミュニケーションを通し、思いやりの心を育成します。

○保護者、地域と連携した体験活動を充実させます。



目指します。

これらの取り組みを核とし「凡事徹底」の精神で、学校経営に努めます。輝く学校を目指します。

○学校応援団の活用を図ります。

○登下校の見守りを実施します。

○家庭や地域に開かれた学校

○保護者や地域との連携を深めます。

○安全安心な学校

○いじめ、暴力、不登校、交通事故を「ゼロ」にします。

○雑巾がけによる体力向上に努めます。

○何事にも挑戦し、最後までやり抜く態度を育てます。

○朝マラソンやチャレンジタイムで体力をつけます。

○体育成

○越生小や越生中との連携に努めます。

○たくましくたくましい心と

体の育成

○朝マラソンやチャレンジ

タイムで体力をつけます。

○雑巾がけによる体力向上に

努めます。

○何事にも挑戦し、最後まで

やり抜く態度を育てます。

# 越生浪漫

No.90

日高市聖天院の石碑

日高市の高麗山聖天院勝樂寺は、奈良時代に、高句麗から渡来した高麗王若光の菩提寺として建立されたと伝えられる真言宗寺院です。現在の本尊は不動明王ですが、かつては聖天歎喜仏を本尊としていたことから、聖天院の名で知られています◆本堂に向かう石段の右下に1枚の石碑が立っています。高さ約1.5mの根府川石製で、彫りが浅く苔むしているため、判読困難ですが、一番上には「若人専念遍照尊／一度参詣高野山／無始罪障道中滅／随願速生諸佛土」(大意＝弘法大師に念じて一度高野山に詣でれば、前世現世の罪が無くなり、願いは速やかに諸仏土に通じる)という願文が記されています◆以下、数段にわたって、

寺院・僧侶・個人名が百数十刻まれています。(裏面にも百人以上の名があります)◆下部にある発願主の讃岐国水主村(現香川県東かがわ市)出身の沙弥真道による趣意書から、明治16年(1883)の弘法大師入定一千五十年御遠忌に行つた高野山・四国八十八箇所参詣を記念して、明治18年5月5日に建立されたことが読み取れます◆注目したのが、大きい彫られた梵字の「ア」と弘法大師像です。筆の刎ねや掠れ、大師像の衣紋表現など、細部に至るまで、黒岩

五大尊の鈴木金兵衛の札所巡拝碑と、同じ下絵によるものとしか思えないほど酷似しています。石材も同じ根府川石を用いています◆江戸神田の石工長蔵が金兵衛の発注を受けたのは弘化2年(1845)です。聖天院の碑の石工は不明ですが、40年を隔てて、長蔵本人か、後継者や関係者が手掛けた可能性があります。



写真：「高野山・四国八十八箇所巡詣記念碑」及びその拓本(日高市・聖天院)

## おごせ 昆虫と自然の館 通信 No.51

### ハチに刺されたとき

「膜翅目 スズメバチ科など」

ハチ刺されによる死亡事故が、毎年報道されます。その多くはハチ毒アレルギーによるもので、ハチの種類ではスズメバチが一番多く、アシナガバチやミツバチでも発生します◆よく「ハチに2度刺されると死ぬ」と言われますが、正しくは「ハチ毒アレルギーを持つ人が2度目に刺されるとアレルギー反応が出て、症状が強いと命にかかわる」です。一般人のハチ毒アレルギー持ちは2%ほどと言われていますが、林業関係者では50%という調査があります。何度も刺されるとアレルギーが出やすくなるようです◆アレルギーの有無に係らず、ハチに刺された時の応急処置は「毒を抜く」ことです。体内の毒を外に出すことで痛み・

腫れ、アレルギー反応もかなり抑えることができます。刺された場所を最低5分間、繰り返し強くつまんで血と一緒に毒を絞り出します。水があれば流しながら行うとなお良いのですが、刺されたら毒が回る前にすぐ始めることが肝要です。同時に胸や首にジンマシンが出たり気分が悪くなつたら、ためらわず救急車を呼びましょう◆「ポイズンリムーバー」という毒を抜く道具がホームセンターや通販で売られています。毎年何度もハチに刺される筆者の体感では効果は絶大です。屋外活動の多い方は携帯されると安心です。(草間岳彦)



▶オオスズメバチの顔(左) ポイズンリムーバー(右)